

## 2022年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年7月14日

上場会社名 株式会社 トレジャー・ファクトリー 上場取引所 東  
 コード番号 3093 URL <https://www.treasurefactory.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野坂 英吾  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 小林 英治 TEL 03-3880-8822  
 四半期報告書提出予定日 2021年7月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年2月期第1四半期の連結業績 (2021年3月1日～2021年5月31日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期第1四半期	5,668	43.2	343	—	366	—	245	—
2021年2月期第1四半期	3,959	△16.6	△221	—	△211	—	△214	—

(注) 包括利益 2022年2月期第1四半期 240百万円 (—%) 2021年2月期第1四半期 △213百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年2月期第1四半期	21.86	—
2021年2月期第1四半期	△18.98	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
2022年2月期第1四半期	10,882		4,481		40.8	
2021年2月期	10,417		4,311		41.1	

(参考) 自己資本 2022年2月期第1四半期 4,436百万円 2021年2月期 4,284百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年2月期	—	2.00	—	8.00	10.00
2022年2月期	—	—	—	—	—
2022年2月期 (予想)	—	8.00	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2022年2月期の連結業績予想 (2021年3月1日～2022年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	10,572	26.2	97	—	107	—	46	—	4.07
通期	22,636	20.8	804	652.2	818	367.6	537	—	47.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社 （社名） 、除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年2月期1Q	11,598,800株	2021年2月期	11,598,800株
② 期末自己株式数	2022年2月期1Q	386,131株	2021年2月期	386,131株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年2月期1Q	11,212,669株	2021年2月期1Q	11,315,769株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来に関する事項は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき記載したものであり、今後様々な要因によって異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項につきましては添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言の再発令に伴い、大規模商業施設や飲食店の営業に影響が出るなど経済活動が制限され、また海外渡航の制限によりインバウンド需要は依然低迷していることなどから、国内消費ははまだ本格的な回復には至っておりません。

そのような中で、人々の断捨離習慣の定着や不用品の買取換金ニーズの増加から、身近なリユースショップの買取サービスへの底堅い需要があり、また、販売面でも、家電、家具、衣料品等の生活用品をお買い得に購入したいというニーズや自宅を快適に過ごすための家財の買い替え需要は、引き続き高い水準で推移しました。

当社におきましては、そのようなリユースへの需要を受けて、総合リユース業態、ファッション業態、スポーツ・アウトドア業態などの各業態が好調に推移し、リユース事業は堅調に推移しました。前年に比べ、衣料やブランド品などファッション分野の売上が大きく回復するとともに、「密」を避け、自宅周辺で買い物を済ませたいという理由から郊外店舗やEC売上は引き続き好調に推移しました。グループ会社においては、2021年1月から連結決算に組み込まれたピックアップジャパンの売上、利益が加わり、また、リユース事業を行うカインドオールも堅調に推移し、グループ全体の収益拡大につながりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高5,668,841千円(前年同期比43.2%増)、営業利益343,075千円(前年同期は営業損失221,663千円)、経常利益366,085千円(前年同期は経常損失211,773千円)、親会社株主に帰属する四半期純利益は245,099千円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失214,718千円)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次の通りであります。

#### (リユース事業)

売上は前年同期比42.9%増、単体の既存店は同27.8%増となりました。カテゴリー別では、前年同期にコロナ禍の影響を強く受けた衣料は大きく回復し前年同期比45.7%増、在宅時間増加や在宅ワークによる家財の需要を受け生活雑貨が同25.8%増、家具が同12.3%増、また単体の好調な売上に加えて、ピックアップジャパンの売上が加わったことにより、服飾雑貨は同83.0%増、ホビー用品は同79.7%増と高い伸びとなりました。EC販売は、単体の自社サイトへの出品数が前年同期比134.3%増となり、自社サイトでの売上が同74.5%増、連結のEC全体の売上が同41.2%増と引き続き順調に伸長し、販売の底上げにつながりました。

仕入は、連結ではピックアップジャパンが加わったこともあり前年同期比63.1%増となり、単体でも44.6%増と大きく伸長しました。買取チャネル別では、前年同期はコロナ禍の影響を強く受けた持込買取がその反動もあり同56.1%増となり、引き続き好調の宅配買取は同36.3%増、出張買取が同44.1%増となりました。

出店は、当第1四半期連結累計期間においては、3店出店し、当連結会計年度末における店舗数は、単体で直営店135店、FC店4店の合計139店、グループ全体で合計206店となりました。

海外のタイ事業では、タイ国においても新型コロナウイルスの影響が強く出ている中でも収益回復に努め、増益となりました。また、4月に台湾に現地法人を設立し、今後の出店に向けての準備を開始しました。

以上の結果から、売上高は5,510,145千円(前年同期比42.9%増)、セグメント利益は746,936千円(前年同期比460.4%増)となりました。

#### (その他)

レンタル事業の「Cariru」では、コロナ禍の中でも結婚式などのイベント需要を取り込み、売上は前年同期比238.1%増と高い伸びを見せました。

以上の結果から、売上高は165,480千円(前年同期比35.5%増)、セグメント損失は8,012千円(前年同期はセグメント損失20,153千円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、売掛金が78,616千円増加、商品が184,398千円増加、建物及び構築物が58,381千円増加、敷金及び保証金が68,013千円増加したこと等により、前連結会計年度末と比較して464,894千円増加し、10,882,449千円となりました。

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、賞与引当金が98,428千円減少した一方で、短期借入金が211,980千円増加、長期借入金が93,609千円増加したこと等により、前連結会計年度末と比較して295,191千円増加し、6,401,406千円となりました。

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純利益を245,099千円計上したこと等により、前連結会計年度末と比較して169,702千円増加し、4,481,043千円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、リユース事業の成長、新規事業への投資、海外市場での成長、M&Aによる成長という4つの成長戦略を掲げ、中期損益計画達成に向けて取り組みを進めております。当期においては、新型コロナウイルスの影響がまだ継続している中、当社グループではリアル店舗とECの連携を強め、リアルとEC間の相互送客による店舗収益力の強化を図るとともに、総合リユースとして、商品カテゴリーの拡大と各カテゴリーの深化に取り組んでおります。また、新規出店においては、コロナ禍の中でも好立地の店舗用地を確保することができており、当期のグループ出店目標の15~20店の達成に向けて順調に進捗しております。

第1四半期連結累計期間においては、リユース事業が計画を上回って推移したことから連結売上、連結利益とも計画を上回って推移し、第2四半期も事業は堅調な推移が見込まれるものの、7月からの変異ウイルスを含む新型コロナウイルスの感染再拡大の状況などの業績への影響が見通せないことから、業績予想は据え置いております。

以上を踏まえて、2022年2月期の第2四半期累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、2021年4月14日に発表いたしました連結業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,994,170	2,049,220
売掛金	548,801	627,417
商品	3,568,686	3,753,085
その他	516,921	538,693
流動資産合計	6,628,580	6,968,415
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	948,213	1,006,594
土地	446,949	446,949
その他(純額)	206,709	209,442
有形固定資産合計	1,601,872	1,662,986
無形固定資産		
のれん	169,885	163,859
その他	121,662	146,267
無形固定資産合計	291,547	310,126
投資その他の資産		
敷金及び保証金	1,541,401	1,609,415
その他	354,153	331,505
投資その他の資産合計	1,895,555	1,940,921
固定資産合計	3,788,975	3,914,034
資産合計	10,417,555	10,882,449

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	61,452	77,652
短期借入金	1,672,987	1,884,967
1年内返済予定の長期借入金	600,290	644,642
未払法人税等	68,756	113,703
賞与引当金	273,882	175,454
返品調整引当金	18,822	21,135
ポイント引当金	50,376	52,227
その他	1,239,393	1,199,050
流動負債合計	3,985,961	4,168,832
固定負債		
長期借入金	1,514,595	1,608,204
資産除去債務	583,214	594,844
その他	22,444	29,525
固定負債合計	2,120,254	2,232,574
負債合計	6,106,215	6,401,406
純資産の部		
株主資本		
資本金	521,183	521,183
資本剰余金	456,183	456,183
利益剰余金	3,624,479	3,778,403
自己株式	△317,732	△317,732
株主資本合計	4,284,113	4,438,037
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	31	△1,237
その他の包括利益累計額合計	31	△1,237
新株予約権	—	18,819
非支配株主持分	27,194	25,423
純資産合計	4,311,340	4,481,043
負債純資産合計	10,417,555	10,882,449

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年5月31日)
売上高	3,959,782	5,668,841
売上原価	1,515,346	2,126,798
売上総利益	2,444,435	3,542,043
返品調整引当金戻入額	20,076	18,822
返品調整引当金繰入額	23,096	21,135
差引売上総利益	2,441,415	3,539,730
販売費及び一般管理費	2,663,079	3,196,654
営業利益又は営業損失(△)	△221,663	343,075
営業外収益		
受取利息	143	120
自販機収入	1,821	2,172
為替差益	—	599
助成金収入	—	9,006
受取手数料	3,237	3,814
その他	6,479	10,458
営業外収益合計	11,682	26,171
営業外費用		
支払利息	1,159	3,084
その他	632	77
営業外費用合計	1,792	3,162
経常利益又は経常損失(△)	△211,773	366,085
特別利益		
新株予約権戻入益	6,619	—
特別利益合計	6,619	—
特別損失		
固定資産除却損	341	1,761
特別損失合計	341	1,761
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△205,495	364,323
法人税、住民税及び事業税	4,827	85,308
法人税等調整額	5,227	37,161
法人税等合計	10,054	122,470
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△215,549	241,853
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△830	△3,245
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△214,718	245,099

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年5月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△215,549	241,853
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	1,929	△1,269
その他の包括利益合計	1,929	△1,269
四半期包括利益	△213,620	240,584
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△212,789	243,830
非支配株主に係る四半期包括利益	△830	△3,245

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

繰延税金資産の回収可能性及び固定資産の減損損失等の会計上の見積りについて、四半期連結財務諸表作成時において入手可能な情報に基づき実施しております。新型コロナウイルス感染症による当社グループ事業への影響は、事業によって程度は異なるものの、2021年3月以降は例年並の業績が見込まれることを前提として会計上の見積りを行っております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注1)	合計	調整額(注2)	四半期連結 損益計算書計上額 (注3)
	リユース事業				
売上高					
外部顧客への売上高	3,855,689	104,093	3,959,782	—	3,959,782
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	17,999	17,999	△17,999	—
計	3,855,689	122,092	3,977,781	△17,999	3,959,782
セグメント利益又は損失 (△)	133,280	△20,153	113,127	△334,790	△221,663

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、レンタル事業、システム事業、不動産事業を含んでおります。

(注2) セグメント利益又はセグメント損失の調整額は全社費用であり、主にセグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

(注3) セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

## Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2021年3月1日 至 2021年5月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注1)	合計	調整額(注2)	四半期連結 損益計算書計上額 (注3)
	リユース事業				
売上高					
外部顧客への売上高	5,510,145	158,695	5,668,841	—	5,668,841
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	6,785	6,785	△6,785	—
計	5,510,145	165,480	5,675,626	△6,785	5,668,841
セグメント利益又は損失 (△)	746,936	△8,012	738,924	△395,848	343,075

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、レンタル事業、システム事業、不動産事業を含んでおります。

(注2) セグメント利益又はセグメント損失の調整額は全社費用であり、主にセグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

(注3) セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。